

久留米市鳥類センター

Poppo

ポッポ

1980年頃、世界では地球温暖化などの環境問題についての意識が高まり、1992年 環境と開発をテーマにした国際会議「地球サミット」が開催されました。

この会議の中で「生物の多様性に関する条約（生物多様性条約）」が作られ、世界全体でこの問題に取り組むようになりました。

以降も生物多様性条約締約国会議が各国で行われ2010年10月には愛知県名古屋市で「生物多様性条約第10回締約国会議（C O P 10）」が開催されました。

【生物多様性条約の目的とは？】

- ①地球上の多様な生物とその生息環境を守る。
- ②生き物から得られる恵みを持続できる方法で利用する。
- ③生き物から得た利益を公平に配分する。



特集 生物多様性



No.1 タンチョウ No.2 動物園 No.3 フクロウ No.4 クジャク No.5 傷病野生鳥獣保護 No.6 ペンギン No.7 外来生物



No.8 フラミンゴ No.9 ダチョウ No.10 日本鶏 No.11 ペリカン



バックナンバー

ご希望の方は、お問い合わせ下さい。

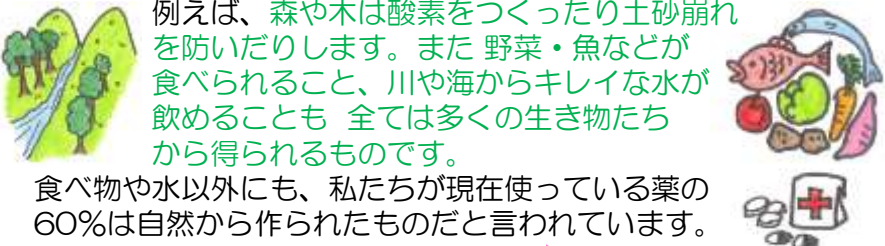
財団法人久留米市都市公園管理センター久留米市鳥類センター
 〒830-0003福岡県久留米市東榊原町中央公園内
 TEL 0942(33)2895 FAX 0942(33)2896
 休園日 毎月第2月曜日(祝日の場合は翌日)年末年始(12月29日～1月1日)

生物多様性と私たちの生活

生物多様性は、私たちの生活にたくさんの恵みを与えてくれます。

例えば、森や木は酸素をつくったり土砂崩れを防いだりします。また野菜・魚などが食べられること、川や海からキレイな水が飲めることも 全ては多くの生き物たちから得られるものです。

食べ物や水以外にも、私たちが現在使っている薬の60%は自然から作られたものだと言われています。



生物多様性の危機

私たち人間は多くの生き物たちに支えられている一方で、たくさんの生き物に影響を及ぼしています。この影響が生物多様性の危機を生んでいます。

① 生き物絶滅の危機

開発で森や山を削ったり、川や海を汚すと、そこに住んでいた生き物たちは逃げ出さず、絶滅するしかありません。



もう、住めないよ...



② 生息地減少の危機

里山や田んぼ・畑にも、沢山の生き物が人間と共に暮らしていました。しかし、過疎化・高齢化でそれらの土地が荒れると生き物たちが住めなくなります。

※外来生物・・・外国の生き物



④ 地球温暖化の危機

このまま温暖化がすすむと地球上の生き物の約40%が絶滅すると言われています。

たとえば・・・ホッキョクグマは海氷で休んでいるアザラシを捕まえて食べています。海氷がとけてしまうとアザラシを捕まえる事ができません。



特集 生物多様性（せいぶつたようせい）

生物多様性とは？

植物や昆虫・動物・人間などの様々な（多様な）生き物が様々なところでつながり、お互いに支えあって生きているということです。

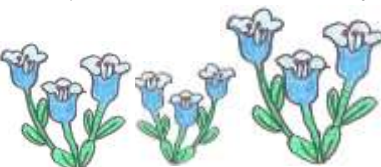
例えば・・・

● 共生関係 (きょうせいかんけい)

ミツバチが花から蜜をもらう時に花粉がつきます。花粉は、ミツバチによって他の花に運ばれ受粉します。



受粉した花から種ができます。種→種は多くの花を咲かせます。



ミツバチと花のようにお互いが助けあっている関係を共生関係と言います。

● 食物連鎖 (しょくもつれんさ)



花→ウサギ→キツネ→花のような食べられる→食べる関係を食物連鎖と言います。生き物は他の生き物の役に立ったり、支えあいながら生きています。

● 種の多様性 (しゅのたようせい)

種の多様性とは色々な種類の生き物が生きているということ。

地球上には3,000万種もの生き物がいると言われています。色々な種類の生き物たちが生きていることで、お互いの関係を保って暮らしています。

